

感染症ニュース

No.142 2017/02/03

<流行中の感染症>

感染性胃腸炎

ノロウイルスによると思われる胃腸炎が流行中。それ以外に、乳児が感染すると白っぽい下痢便が続くロタウイルスによる胃腸炎も出てきており、今後、春先まで流行することが予測される。

インフルエンザ

全国的に流行中。現在の流行は、A 香港型が主流で、感染力が強く、症状も激しく、また、脳症も起こしやすいタイプで要注意。さらに、2009 年から出現した A 型や、B 型も、検出されている。

マイコプラズマ感染症

2 週間以上、咳が続く。特に、夜間の咳が多い。潜伏期間が 2～3 週間と長いいため、長期間にわたって流行が持続し、園内・学校内・職場内・家庭内感染も多い。発熱が無く元気でも肺炎を起こしていることも多く、適した抗生剤を早期に開始することが望ましい。

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

最近では 5～6 年周期で流行しており、今年は富山県内で大流行中。潜伏期間は 2～3 週間。髄膜炎、難治性中耳炎（治っても難聴になってしまう）、睇炎、精巣炎、卵巣炎など、合併症が多い。大人が発症すると、頭痛や発熱が持続し、入院することも多い。

RS ウイルス感染症

毎年、秋から冬に流行する呼吸器感染症で、乳児が感染すると重症になりやすく、特に新生児が感染すると急速に重症化し、死に至ることもある。

溶連菌感染症

秋から春にかけて流行しやすい。一度かかると、何度も繰り返すことが多い。

アデノウイルス感染症（咽頭結膜熱、プール熱）

発熱、のどの痛み、目の充血や眼脂がみられ、感染力が非常に強いいため、登園・登校禁止になる。胃腸炎症状がみられることもある。